

## 質問回答

ケニア国人材育成奨学計画準備調査(QCBS方式)

(公示日:2019年7月24日/公示番号:19a00294)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.18、1. プロポーザルに記載されるべき事項 (2)業務の実施方針等	7)実施監理体制において、「本体業務における実施体制のみならず、実施に当たっての留意点・工夫～」と記載されていますが、(2)業務の実施方針では本準備調査のみならず、その後の無償資金協力本体事業の計画についても記載する必要がありますか。	ご理解の通り、本体無償資金協力事業の計画についても「実施監理体制」として具体的なアイデアをご記載ください。
以上 8/6 回答済み			
2	p. 11、1. プロジェクトの背景	「毎年最大 15 名の留学生を受け入れに対し」とありますが、1 期の入学者は 7~8 名で 2 期分併せて 15 名という意味でしょうか。それとも 1 期の受け入れは 15 名、2 期分併せての年間受け入れは 30 名という意味でしょうか。	各期の入学者を最大 15 名として検討を進めております。4 期合計 60 名の受入に対する計画を策定するために今回の調査を実施予定です。
3	p.13、5. 実施方針及び留意事項 (5)他の JICA 案件との関係性の整理、連携可能性の検討	注 5 は、p.14 の(7)キャリアパスに関する調査にかかるもので、p.13 の(5)は単なる間違いでしょうか。 もし p.13(5)にかかるものだとすれば、方法を提案すべき調査の対象をご説明お願いいたします。	注 5 は、P13(4)、(5)、P14(7)の 3 つの事項に対してかかっております。  (5)の注釈に対しては、調査の対象は現時点では、「『アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABE イニシアティブ)』等の留学生事業」と「ケニアで現在実施中のその他の

			JICA 事業」を想定しております。
4	p.13、5. 実施方針及び留意事項 (10) 博士課程にかかるニーズ 及び受入要件について	博士課程の対象に、ケニアの大学教員も含める ことが出来ますか。	詳細は協力準備調査において検討する予定で す。JDS の目的に鑑みると、修士同様、行政官 を主対象とする方針です。他国において、国立 大学教員が将来政策策定に関わるポジション につくといった JDS の目的に沿うキャリアパス が確認できた場合に対象とした事例がありま す。
5	p.13 (2) 調査のプロセス	第1回現地調査について、発注者からの調査団 員は1週間程度参加とありますが、第1回、第 2回それぞれの現地調査について、受注者の現 地調査の作業日数の目安を教えてくださいま すか。	特に目安はこちらからはお示しできません。過 去の協力準備調査報告書などをご参考に、必 要な日数をご提案ください。
6	p.19 2. 業務実施上の条件(1) 業務工程	JICA と先方政府との協議時期について、10月 下旬頃に予定とありますが、p.15には11月を 目途に JICA 派遣団員中心となりケニア政府側 と協議する、とあります。JICA と先方政府の協 議時期はいつごろでしょうか。	10月下旬を想定しております。P.19 2.(1)を修 正させていただきます。実際の時期は受注者と も相談の上決定致しますが、大学要望調査を 予定している11月中旬までには、先方政府と の合意を取る想定であります。 また、本件に関連し、P.16の7. 成果品等の 「(1)インセプションレポート」の提出時期につい て、「2019年10月上旬」に訂正させていただきます。

以 上